1. 演奏 小林範子オリジナル曲

2. 翼をください 作詞：山上路夫 作曲：村井邦彦

いま私の 願いごとが

かなうならば 翼(つばさ)がほしい

この背中に 鳥のように 白い翼

つけてください この大空に 翼をひろげ

飛んで行(ゆ)きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

いま富とか 名誉ならば いらなけれど

翼がほしい 子供の時 夢見たこと

今も同じ 夢に見ている この大空に

翼をひろげ 飛んで行きたいよ

悲しみのない 自由な空へ

翼はためかせ 行きたい

3. サンタルチア ナポリ民謡 訳詞:堀内敬三

月は高く 海に照り 風も絶え 波もなし

月は高く 海に照り 風も絶え 波もなし

来よや友よ 船は待てり①

サンタ ルチア サンタ ルチア②

① ② 繰り返し

ほのかなる 潮の香(か)に

流るるは 笛の音(ね)か

ほのかなる 潮の香(か)に

流るるは 笛の音か

晴れし空に 月は冴(さ)えぬ①

サンタ ルチア サンタ ルチア②

① ② 繰り返し

4. 星めぐりの歌 作詞・作曲：宮沢賢治

あかいめだまのさそり

ひろげた鷺のつばさ

あをいめだまの小さいぬ

ひかりのへびのとぐろ

オリオンは高くうたひ

つゆとしもとをおとす

アンドロメダのくもは

さかなのくちのかたち

大ぐまのあしをきたに

五つのばしたところ

小熊のひたいのうへは

そらのめぐりのめあて

5. 芭蕉布 作詞：吉川安一 作曲：普久原恒夫

海の青さに 空の青

南の風に 緑葉(みどりば)の

芭蕉は情(なさけ)に 手を招く

常夏(とこなつ)の国 我(わ)した島沖繩(うちなー)

首里の古城の 石だたみ

昔を偲(しの)ぶ かたほとり

実れる芭蕉 熟(う)れていた

緑葉の下 我した島沖繩

今は昔の 首里天(すいてん)じゃなし
唐(とう)ヲウーつむぎ はたを織り
上納(じょうのう)ささげた 芭蕉布
浅地(あさじ)紺地(くんじ)の 我した島
沖繩(うちなー) 沖繩(うちなー)

6. キエフのとりの歌 ウクライナ民謡 作詞: 木内宏治

果てなき空のかなた いとしい鳥は飛ぶ
丘に一人たたずみ 過ぎにし日を思う
心にしみる鳥の声 白鳥よ鶴よ
やさしき人は今いずこ 教えておくれ
あ…… あ…… あ…… あ…

夜霧にしずむ森よ ほの暗き谷間よ
うたごえ川面をゆく わが思いを乗せて
鶴のうたごえによせて とどけよ愛の歌
やさしき人は今いずこ 教えておくれ
やさしき人は今いずこ 教えておくれ
Hum…… Hum…… Hum…… Hum…

7. 島唄 作詞・作曲 宮沢和史

でいごの花が咲き 風を呼び 嵐が来た
でいごが咲き乱れ 風を呼び 嵐が来た
くり返す悲しみは 島渡る波のよう
ウージの森であなたと出会い
ウージの下で千代にさよなら

島唄よ 風に乗り 鳥とともに 海を渡れ①

島唄よ 風に乗り 届けておくれ私の涙②

でいごの花も散り さざ波がゆれるだけ
ささやかな幸せは うたかたの波の花

ウージの森で歌った友よ

ウージの下で八千代の別れ

島唄よ 風に乗り 鳥とともに 海を渡れ①

島唄よ 風に乗り 届けておくれ 私の愛を③

海よ 宇宙よ 神よ いのちよ

このまま永 遠に夕凧(ゆうなぎ)を

① ② 繰り返し

① ③ 繰り返し

8. 涙そうそう 作詞: 森山良子 作曲: BEGIN

古いアルバムめくり ありがとうってつぶやいた
いつもいつも胸の中 励ましてくれる人よ
晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔
想い出遠くあせても おもかげ探して
よみがえる日は 涙そうそう

一番星に祈る それが私のくせになり

夕暮れに見上げる空 心いっぱいあなた探す

悲しみにも 喜びにも おもうあの笑顔

あなたの場所から私が 見えたら きっといつか

会えると信じ 生きてゆく

晴れ渡る日も 雨の日も 浮かぶあの笑顔

想い出遠くあせても

さみしくて 恋しくて 君への想い 涙そうそう

会いたくて 会いたくて 君への想い 涙そうそう

9 ていんさぐぬ花 沖縄民謡

「ていんさぐ」とは「鳳仙花(ホウセンカ)」のこと 昔、
赤い鳳仙花は女の子が爪を染めるのに使ったことから、
いつの時代も心に染しみる親の教えと大切さを歌った
わらべうた

ていんさぐぬ花や

爪先(ちみさち)に染(す)みてい

親(うや)ぬゆしぐとうや

肝(ちむ)に染みり

天(ていん)ぬ群(む)り星(ぶ)しや

読(ゆ)みば読まりしが

親(うや)ぬゆしぐとうや 読みやならぬ

夜(ゆる)走(は)らす船(ふに)

子(に)ぬ方星(ふあぶし)目当(みあ)てい

我(わ)ん生(な)ちえる親(うや)や

我(わ)んどう目当(みあ)てい

10. さとうきび畑 作詞・作曲：寺島直彦

ざわわ ざわわ ざわわ 広いさとうきび畑は①

ざわわ ざわわ ざわわ 風が通りぬけるだけ②

今日もみわたすかぎりに

緑の波がうねる 夏の陽ざしの中で

① ② 繰り返し

むかし海の向こうから

いくさがやってきた 夏の陽ざしの中で

① ② 繰り返し

あの日鉄の雨にうたれ

父は死んでいった 夏の陽ざしの中で

① ② 繰り返し

そして私の生まれた日に

いくさの終わりがきた 夏の陽ざしの中で

① ② 繰り返し

11 ホール・ニュー・ワールド

作詞:Tim Rice 訳詞: 湯川れい子 作曲: Alan Menken

ディズニー映画「アラジン」

見せてあげよう 輝く世界

プリンセス 自由の花を ホラ

目を開いて この広い世界を

魔法のじゅうたんに 身をまかせ

おおぞら 雲は美しく

誰も僕ら 引きとめ しばりはしない

おおぞら 目はくらむけど ときめく胸

初めて あなた見せてくれたの

すばらしい世界を

すぎて 信じられない

きらめく星は ダイヤモンドね

ア・ホール・ニュー・ワールド

目を開いて 初めての世界

ながれ星は ふしぎな

夢に満ちているのね

星の海を 新しい世界

ふたりきりで明日を 一緒に見つめよう

このまま ふたりが すてきな 世界を

見つめて あなたと いつまでも

12 ローレライハイネ詩 訳詞:近藤朔風 作曲:ジルヘル

なじかは知らねど 心わびて

昔のつたえは そぞろ身にしむ

さびしく暮れゆく ラインの流れ

いりひに山々 あかく映(は)ゆる

うるわし少女(おとめ)の いわおに立ちて

黄金(こがね)の櫛とり 髪のみだれを

梳(す)きつつくちづさぶ 歌の声の

くすしき魔力(ちから)に

魂(たま)もまよう

こぎゆく舟びと 歌に憧れ

岩根も見やらず 仰げばやがて

浪間に沈むる ひとも舟も

くすしき魔歌(まがうた)

謡(うた)うローレライ

13. アロハ・オエ ハワイ民謡

優しく 奏ずるは ゆかし ウクレレよ

ハワイの波しづか 夢をのせて揺るる

アロハ・オエ アロハ・オエ①

こだまする あの調べよ②

アロハ・オエ アロハ・オエ①

さらば ハワイよ③

乙女の かき鳴らす うれし ギターレよ

果てなき 海こえて 遠く遠くひびけ

① ② ① ③ 繰り返し

14. 海 作詞・林柳波 作曲:井上武士

うみはひろいな おおきいな

つきはのぼるし ひがしむ

うみはおおなみ あおいなみ

ゆれてどこまで つづくやら

うみにおふねを うかばせて

いってみたいな よそのくに

うみはひろいな おおきいな

つきはのぼるし ひがしむ

15. 海 文部省唱歌

松原遠く消ゆるところ 白帆の影は浮かぶ

干網(ほしあみ)浜に高くして

かもめは低く波に飛ぶ

見よ 昼の海 見よ 昼の海

島山間に著(しるぎ)あたり 漁火 光淡(あわ)し
寄る波岸に緩(ゆる)くして 浦風軽く沙(いさご)吹く

見よ 夜の海 見よ 夜の海

16. 椰子の実 作詞：島崎藤村 作曲：大中寅二

名も知らぬ 遠き島より

流れ寄る 椰子の実一つ

故郷(ふるさと)の岸を 離れて

汝(なれ)はそも 波に幾月(いくつき)

旧(もと)の木は 生(お)いや茂れる

枝はなお 影をやなせる

われもまた 渚(なぎさ)を枕

孤身(ひとりみ)の 浮寝(うきね)の旅ぞ

実をとりて 胸にあつれば

新(あらた)なり 流離(りゅうり)の憂(うれい)

海(うみ)の日の 沈(しず)むを見れば

激(たぎ)り落(お)つ 異郷(いきょう)の涙

思いやる 八重(やえ)の汐々(しおじお)

いずれの日にか 国(くに)に帰らん

川越の歌 No17~21

17. 河童の伊勢まいり 作詞：柿沼宏 作曲：小林範子

カッパ カッパ カッパカパア ①

カッパ カッパ カッパカパア ②

カッパ カッパ カッパカパア ③

① ② ③ 繰り返し

おいらは小畔(こあぜ)の 小次郎河童

いたずら好きの 川の主 仲よしこよしの 三匹で

お伊勢まいりと しゃれこんだ

カッパ カッパ カッパカパア ①

カッパ カッパ カッパカパア ②

カッパ カッパ カッパカパア ③

① ② ③ 繰り返し

おいらは伊草の 袈裟坊河童

しっかり者の 川の主 たにしのふたに

術(わざ)をかけ 小判(こばん)にみせて ふるまった

カッパ カッパ カッパカパア ①

カッパ カッパ カッパカパア ②

カッパ カッパ カッパカパア ③

① ② ③ 繰り返し

おいらは小沼の かじ坊河童

ひょうきん者の 川の主

いんちきばれて 逃げかえり

二度と旅(たび)など 出(で)なかった

カッパ カッパ カッパカパア ①

カッパ カッパ カッパカパア ②

カッパ カッパ カッパカパア ③

① ② ③ 繰り返し

18. 雪塚稲荷さん 作詞：柿沼宏 作曲：小林範子

雪がこんこん ふる町に
白いきつねが まよいこむ
町のいたずら こどもたち
棒でたたいて いじめっこ
天罰てきめん 大あたり
親子ともども おどろいて
めんなさいね きつねさん
社(やしろ)にまつり 神とした
こわい火の玉 出なくなり
町じゅう商売 町じゅう商売
町じゅう商売 大はんじょう

19. だいだらぼっち作詞：柿沼宏 作曲：小林範子

山をつくった 神さまは
だいだらぼっちと いうんだよ
秩父につくった お山もあるよ

富士のお山に 腰かけて
琵琶湖の水で 顔あらう
雲さえ見下ろす 大きな男

小畔川(こあぜがわ)そば上式(じょうしき)の
山崎さんちの くぼ地こそ
だいだらぼっちの 大足あとさ

となり狭山の 柏原
林のくぼ地が かた足で
ひとつのふんばり 一里もあった

20. 牛頭天王さま作詞：柿沼宏 作曲：小林範子

牛頭天王(ごずてんのう)とは 誰だろう
牛頭天王とは 誰だろう
疫病死神けちらした
牛頭天王とは 誰だろう
こわくて強い神様だ こわくて強い神様だ

川越夜戦の決戦で 川越夜戦の決戦で
兵士を救う 守り神 守り神
牛頭天王さま おまちどう
文月(ふみづき)真夏の ご祭礼
屋台とおみこし くり出して
きつねと獅子が かぐら舞い
にぎやか囃子で たのしいな

21. 九十川 作詞：柿沼宏 作曲：小林範子

南古谷を 流れる川は
どうして そうして 呼ばれたの
くねくね曲がって 九十も①
曲がって くねった 川だから②
① ② 繰り返し

22. 花は咲く 作詞：岩井俊二 作曲：菅野よう子

真っ白な 雪道に 春風香る
わたしは なつかしい あの街を 思い出す
叶えたい 夢もあった 変わりたい 自分もいた
今はただ なつかしい あの人を 思い出す

誰かの歌が聞こえる 誰かを励ましてる

誰かの笑顔が見える 悲しみの向こう側に

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に①

花は 花は 花は咲く わたしは何を残しただろう②

夜空の 向こうの 朝の気配に

わたしは 懐かしい あの日々を 思い出す

傷ついて 傷つけて 報われず 泣いたりして

今はただ 愛おしい あの人を 思い出す

誰かの想いが見える 誰かと結ばれてる

誰かの未来が見える 悲しみの向こう側に

① ② 繰り返し

① ② 繰り返し

花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に

花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために

23. 七夕 作詞：権藤はなよ 作詞補：林柳波

作曲：下総皖一

ささの葉さらさら のきばにゆれる

お星さまきらきら きんぎんすなご

ごしきのたんざく わたしがかいた

おほしさまきらきら そらからみてる

24. 浜辺の歌 作詞：林古啓溪 作曲：成田為三

あした浜辺を さまよえば

昔のことぞ忍ばるる

風の音よ 雲のさまよ

寄する波も 貝の色も

ゆうべ浜辺を もとおれば

昔の人ぞ 忍ばるる

寄する波よ 返す波よ

月の色も 星の影(かげ)

25. おおブレネリ スイス民謡 作詞：松田稔

おおブレネリ あなたのおうちはどこ

わたしのおうちは スイツランドよ

きれいな湖水(こすい)の ほとりなのよ

ヤッホ ホトゥララ①

ヤッホ ホトゥララ②

ヤッホ ホトゥララ③

① ② ③ 繰り返し

ヤッホ ホトゥララ ヤッホホ

おおブレネリ あなたの仕事はなに

わたしの仕事は 羊飼(か)いよ

おおかみ出るので こわいのよ

ヤッホ ホトゥララ①

ヤッホ ホトゥララ②

ヤッホ ホトゥララ③

① ② ③ 繰り返し

ヤッホ ホトゥララ ヤッホホ